

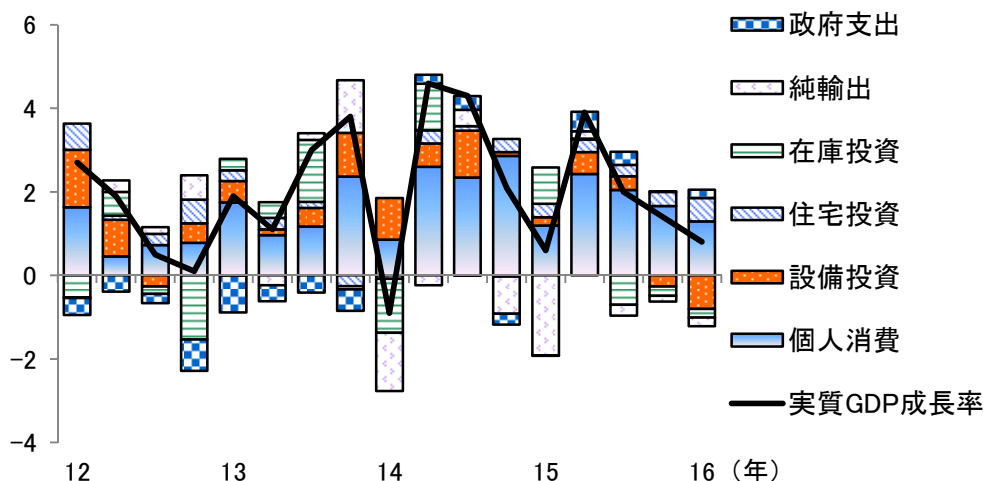
アメリカ経済グラフポケット (2016年6月号)

2016年6月6日発表分までの主要経済指標

ニューヨークリサーチセンター
エコノミスト 橋本 政彦
上野 まな美

実質GDPの推移

(前期比年率、%、%pt)



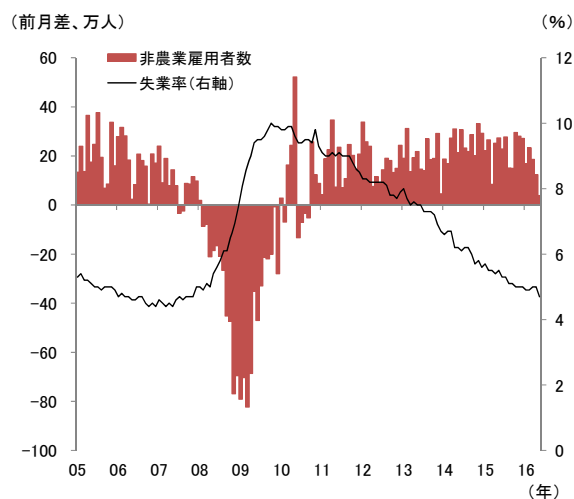
(前期比年率、%、%pt)	2014			2015				2016
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
国内総生産	4.6	4.3	2.1	0.6	3.9	2.0	1.4	0.8
個人消費	3.8	3.5	4.3	1.8	3.6	3.0	2.4	1.9
設備投資	4.4	9.0	0.7	1.6	4.1	2.6	-2.1	-6.2
住宅投資	10.4	3.4	10.0	10.1	9.3	8.2	10.1	17.1
政府支出	1.2	1.8	-1.4	-0.1	2.6	1.8	0.1	1.2
輸出	9.8	1.8	5.4	-6.0	5.1	0.7	-2.0	-2.0
輸入	9.6	-0.8	10.3	7.1	3.0	2.3	-0.7	-0.2
寄与度								
個人消費	2.6	2.3	2.9	1.2	2.4	2.0	1.7	1.3
設備投資	0.6	1.1	0.1	0.2	0.5	0.3	-0.3	-0.8
住宅投資	0.3	0.1	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.6
在庫投資	1.1	0.0	0.0	0.9	0.0	-0.7	-0.2	-0.2
政府支出	0.2	0.3	-0.3	0.0	0.5	0.3	0.0	0.2
輸出	1.3	0.2	0.7	-0.8	0.6	0.1	-0.3	-0.3
輸入	-1.5	0.2	-1.6	-1.1	-0.5	-0.4	0.1	0.0

(出所) BEA, Haver Analyticsより大和総研作成

雇用環境¹

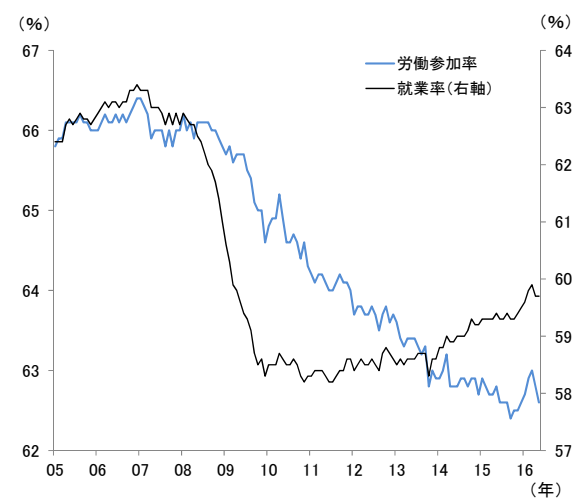
- ◆ 2016年5月の失業率は4.7%となり、前月から0.3%ポイント低下した。非労働力人口の大幅な減少が失業率を押し上げる主因となった。労働参加率は前月から0.2%ポイント低下した。
- ◆ 5月の非農業雇用者数の前月差は3.8万人増となった。非農業雇用者数の前月差の6ヵ月平均は17.0万人増であった。

非農業雇用者数と失業率



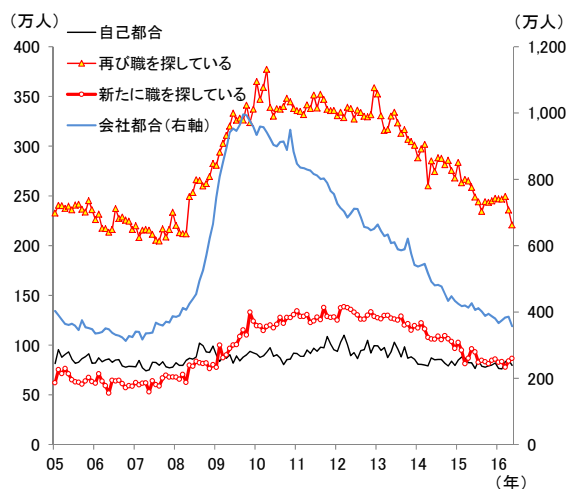
(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

労働参加率と就業率



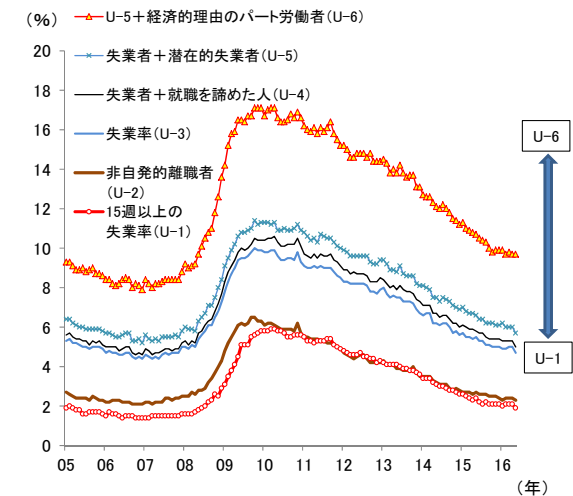
(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

理由別失業者数



(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

定義別失業率



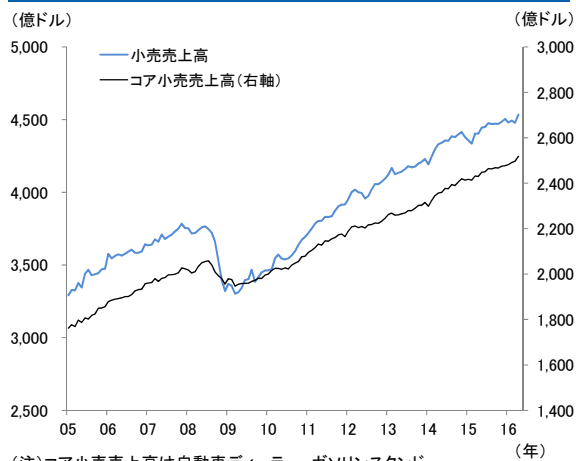
(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

¹ 大和総研 ニューヨークリサーチセンター 橋本政彦「雇用の伸びが失速、6月利上げは見送りへ」(2016年6月6日) 参照。 http://www.dir.co.jp/research/report/overseas/usa/20160606_010954.html

個人消費

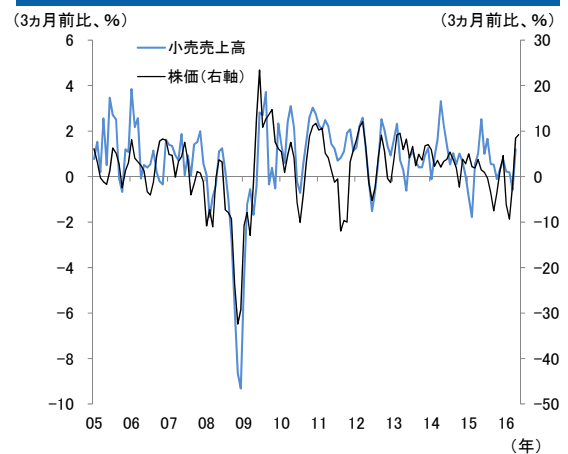
- ◆ 2016年4月の小売売上高は前月比1.3%増となり、2ヵ月ぶりの増加に転じた。コア小売売上高も同0.9%増と、6ヵ月連続で増加した。
- ◆ 5月の自動車販売台数は前月比0.2%増加し、年率換算で1,745万台であった。ライトトラックの販売は前月から減少したものの、乗用車の増加が押し上げ要因となった。
- ◆ 5月のロイター/ミシガン大消費者センチメントは、前月の89.0から94.7へと上昇した。現況指数、期待指数の双方が上昇したが、特に期待指数の大幅な上昇が全体を押し上げた。

小売売上高の推移



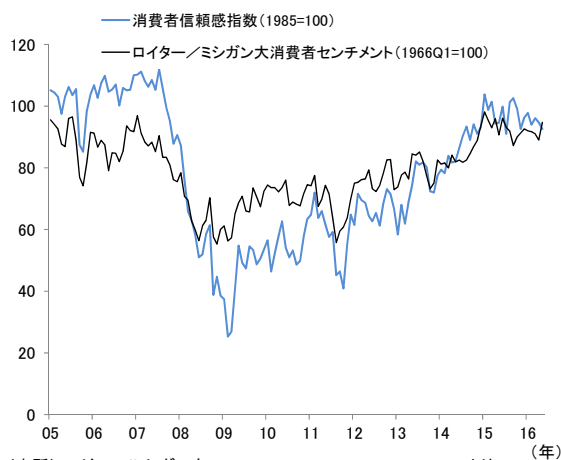
(注)コア小売売上高は自動車ディーラー、ガソリンスタンド、建材・園芸、飲食サービスを除く。
(出所)Census, Haver Analyticsより大和総研作成

消費と株価



(注)株価はWilshire5000。
(出所)Census, Dow Jones, Haver Analyticsより大和総研作成

消費者マインド



(出所)ロイター/ミシガン大, Conference Board, Haver Analyticsより大和総研作成

自動車販売台数

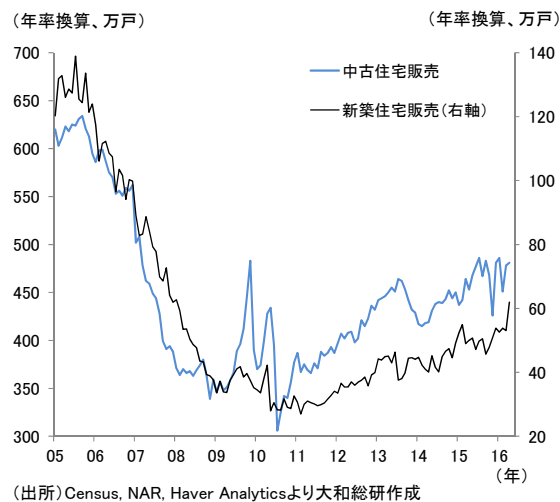


(出所)Autodata, Haver Analyticsより大和総研作成

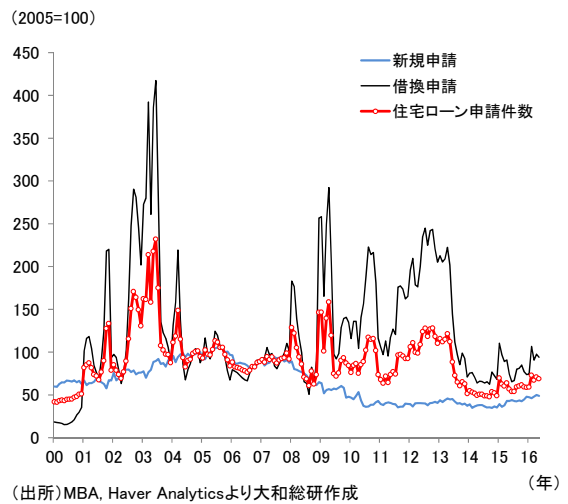
住宅市場

- ◆ 2016年4月の新築住宅着工（一戸建てと集合住宅を含む）は、前月比6.6%増の年率換算117.2万戸であった。
- ◆ 4月の中古住宅販売（一戸建て）は、前月比0.6%増の年率換算481万戸となった。
- ◆ 4月の新築住宅販売（一戸建て）は、前月比16.6%増と大幅に増加し、年率換算61.9万戸となった。
- ◆ 3月のケースシラー住宅価格指数（20都市）は前月比0.9%上昇した。

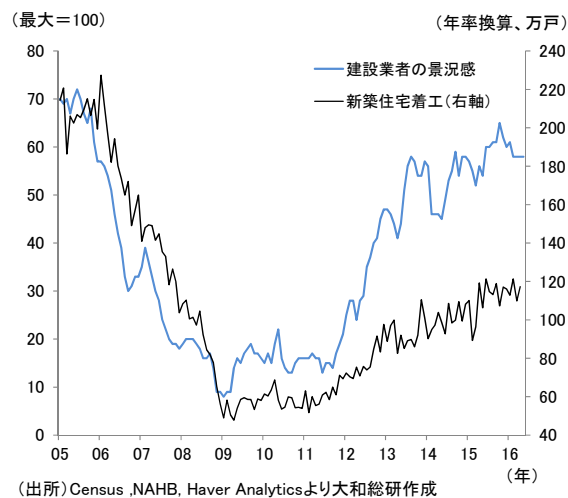
住宅販売（一戸建て）



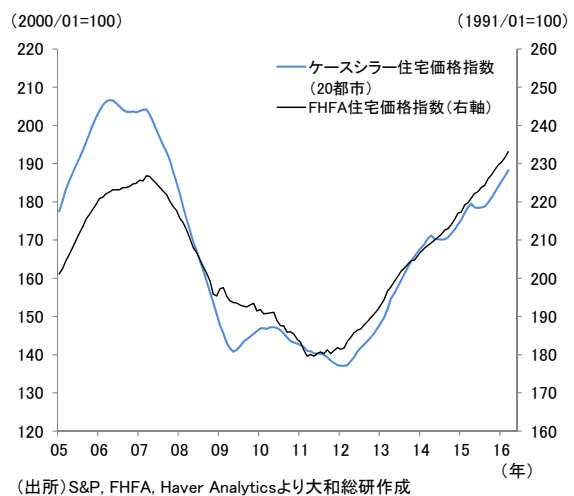
住宅ローン申請件数



住宅着工と建設業者の景況感



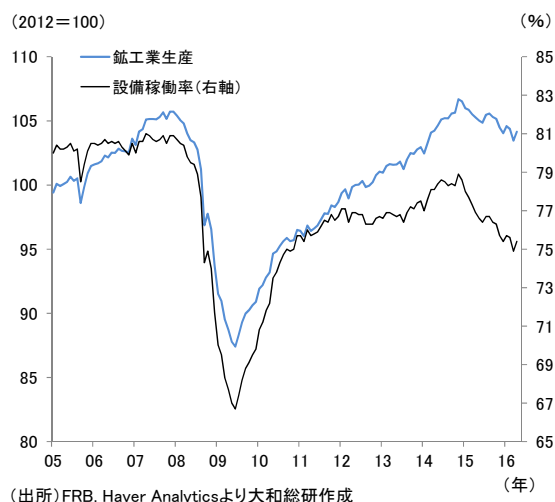
住宅価格



企業動向

- ◆ 2016年4月の鉱工業生産指数は前月比0.7%上昇し、3ヵ月ぶりの上昇に転じた。指数全体の約7割を占める製造業（SICベース）は同0.3%上昇した。
- ◆ 4月の国防・民間航空機を除く資本財受注（コア資本財受注）は、前月比0.6%減と2ヵ月ぶりに減少した。
- ◆ 5月のISM製造業指数は、前月差0.5%ポイント上昇の51.3%となり、基準となる50%を3ヵ月連続で上回った。非製造業指数は、前月から2.8%ポイント低下し、52.9%であった。

鉱工業生産と設備稼働率



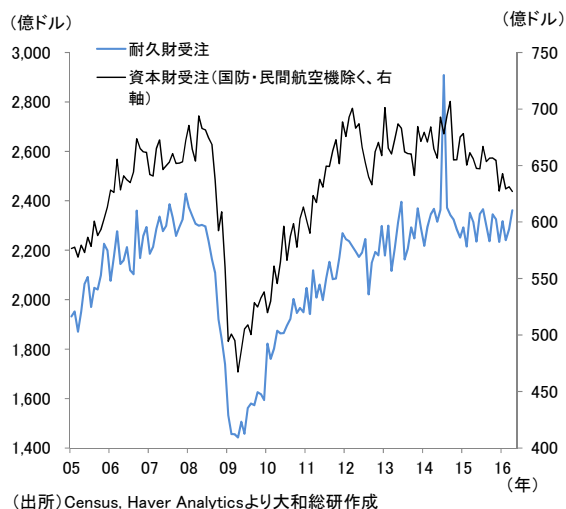
企業の景況感



製造業の出荷・在庫



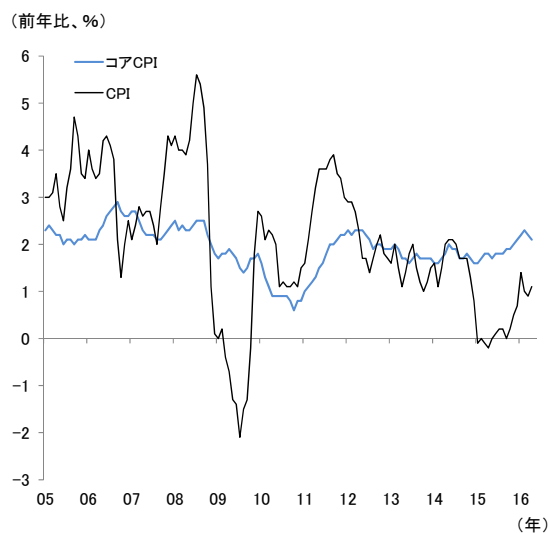
耐久財受注



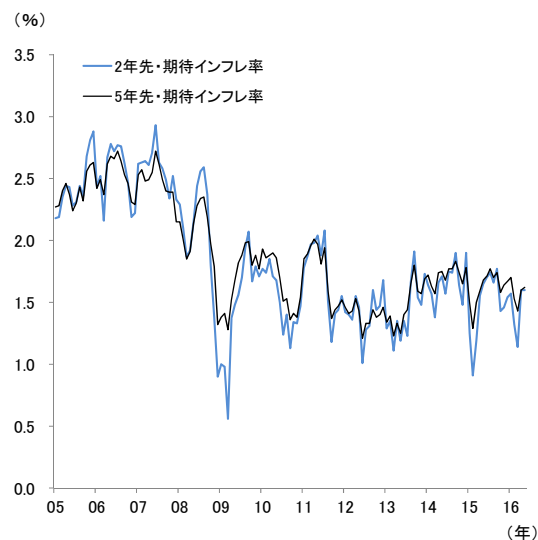
物価動向

- ◆ 2016年4月のCPI（消費者物価指数）は前年比1.1%上昇と、上昇幅が前月から拡大した。一方、コアCPIは同2.1%上昇となり、前月から上昇幅がわずかに縮小した。
- ◆ 5月の2年先期待インフレ率は1.60%と前月から横ばいであった。5年先期待インフレ率は1.62%となり、前月から上昇した。
- ◆ 5月末のWTI原油先物価格は49.10ドル/バレルと、4月末の45.92ドル/バレルから上昇した。

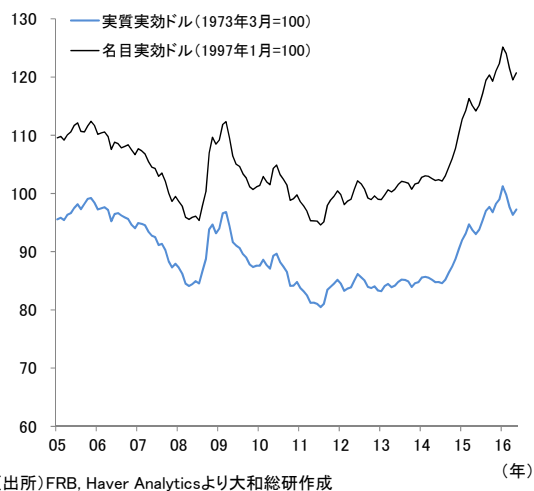
消費者物価指数



期待インフレ率



実効為替レート(ブロード)



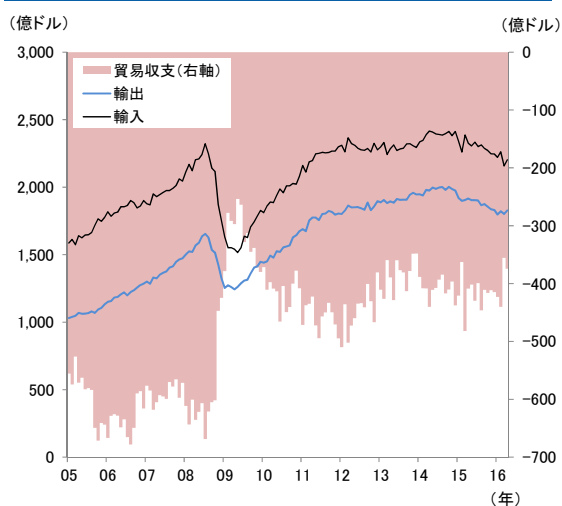
コモディティ価格



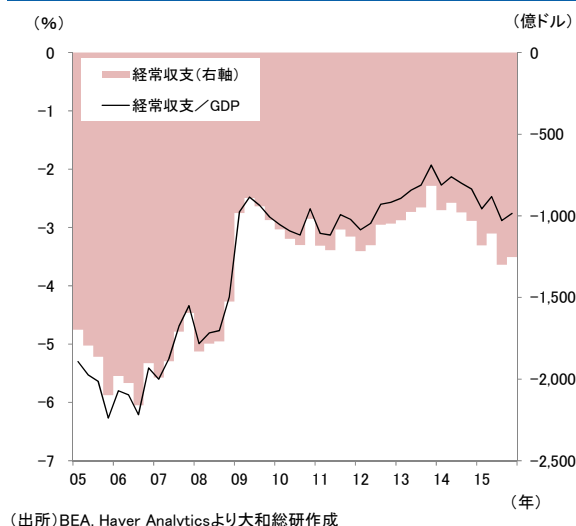
輸出入・経常収支

- ◆ 2016年4月の貿易収支（財・サービス）は、輸出が前月比1.5%増加し、輸入も同2.1%増加した。この結果、貿易赤字は前月から5.3%拡大し、約374億ドルとなった。
- ◆ 輸出入（財）を商品別に見ると、輸出では鉱物性燃料などの工業用品が前月から増加したほか、自動車・同部品の増加が全体を押し上げる要因となった。一方の輸入は航空機などの資本財、および工業用品の増加が押し上げに寄与した。
- ◆ 地域別（財）では、欧州への輸出が前年比2.6%減少、中国向けが同6.9%減少、日本向けも同16.2%減少した。輸入は、欧州からの輸入が同5.1%減少、中国からの輸入が同8.7%減少、日本からの輸入は同14.7%減少した。

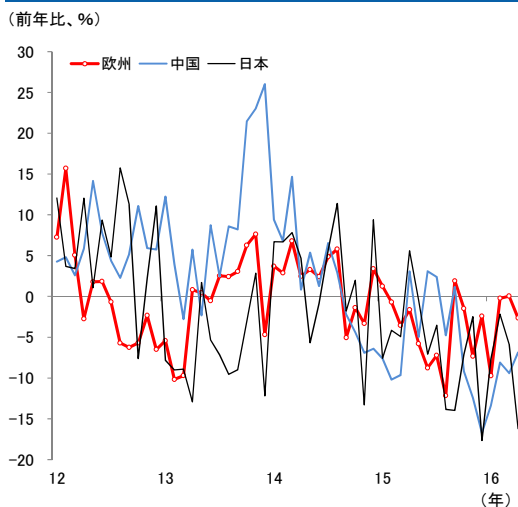
貿易収支動向



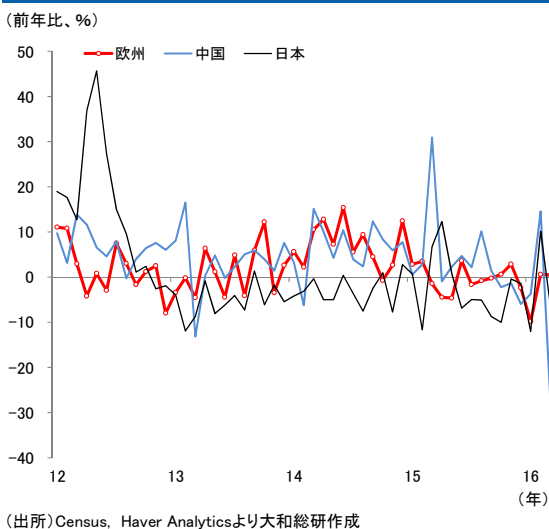
経常収支の推移



国・地域別輸出動向



国・地域別輸入動向



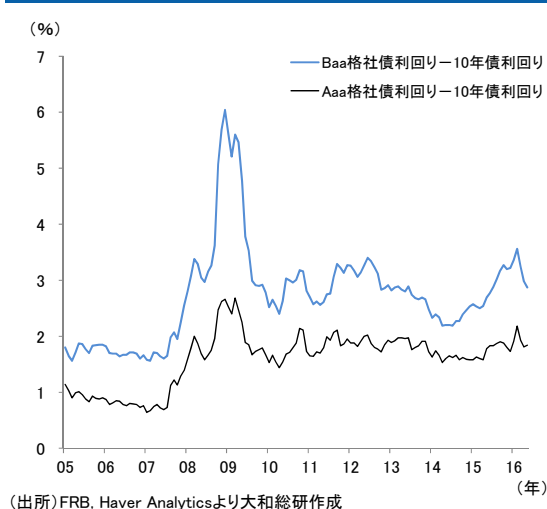
金融・財政

- ◆ 2016年4月のFOMC（連邦公開市場委員会）において、政策金利であるFF（フェデラルファンド）レートの目標レンジは据え置かれた。また、保有する資産規模については、現在の水準を維持することが決定された。FRBの資産残高は、直近の6月1日の週平均が約4兆5,100億ドルであった。
- ◆ 5月の長期金利（10年債利回り）の平均値は1.81%となった。月前半には一時1.7%台前半まで低下したが、月後半は横ばい圏で推移し、月次ベースでは前月から横ばいとなった。
- ◆ 連邦政府の財政収支（12ヵ月平均）は、トレンドとして赤字幅が縮小してきたが、このところ足踏みが見られている。

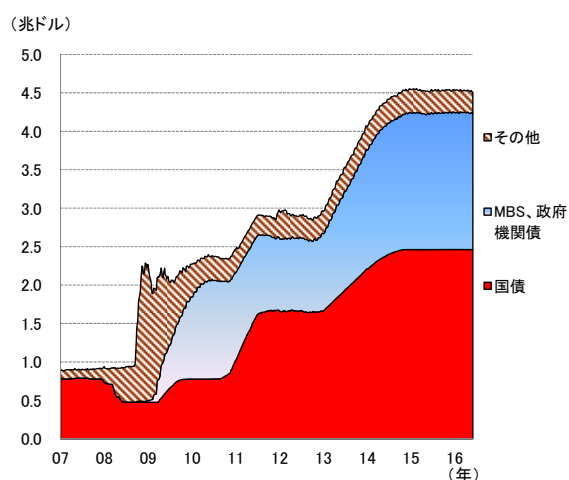
政策金利・長期金利



クレジットスプレッド



FRBの資産構成



連邦政府の財政収支

